

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
497 美しいまちづくり推進事業（道路清掃）

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
基本方針	3	安全で快適な道路環境の整備及び通学路の安全確保

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		道路橋梁費	
	目		道路維持費	
	大事業		道路維持修繕事業	
事項		美しいまちづくり推進事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	道路管理課	前島 康成	435-1088
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	主要幹線道路の清掃業務	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行った。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行った。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行う。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行う。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行う。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	58,639	52,824	62,640	70,455	48,112		48,112		48,112		
	伸び率 (%)	-	-	6.8%		-23.2%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	10,724	9,675	9,675	8,984	8,984		8,984		8,984	
		非常勤職員	703	602	602	0	0		0		0	
		小計	11,427	10,277	10,277	8,984	8,984		8,984		8,984	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
一般財源（税等）	58,639	52,824	62,640	70,455	48,112		48,112		48,112			
所要人数	常勤職員	1.45	1.27	1.27	1.18	1.18		1.18		1.18		
	非常勤職員	0.33	0.29	0.29	0.00	0.00		0		0		
主な予算内訳	路面清掃委託24,464千円、土砂等運搬委託23,648千円											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	清掃回数	年度目標値			180	180	180		
		実績値			180	180			
	単位	日	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%		
	土砂等収集運搬	年度目標値			30	30	30		
		実績値			30	30			
単位	地区	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%			
成果指標	清掃延長	年度目標値			30,716	30,716	30,716		
		実績値			30,716	30,716	30,716		
	単位	m	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
		年度目標値							
		実績値							
	単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市道の増加に伴い、路面清掃面積の増加等管理コストの上昇が見込まれる。
「見直し」 「改善」案	清掃箇所及び工法の精査し、コストの低減を図ることにより、清掃延長の増加に対応しなければならないと考えられる。